



# 千年さんごちゃん通信

千年サンゴと生きるまちづくり協議会 令和4年3月発行

「千年サンゴと生きるまちづくり協議会」は、創立**10**周年を迎えました

令和3年7月15日をもって、創立から満10年を迎えることができました。これまでの皆様方からの御支援と御協力に対し、心よりお礼申し上げます。悠久の時を経て成長した、世界最大級のコブハマサンゴ「千年サンゴ」をシンボルとして、今後とも持続的に環境保全活動を推進し、地域づくりにつなげてまいりたいと思いますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

サポーター会員の皆さまには、御支援いただきありがとうございました。以下のとおり、本年度の活動の概要をご報告します。

## PART 1 サンゴを守る活動

### 保全活動（サンゴ食害生物駆除）



第1回：7月27日（火）内湾（千年サンゴ周辺）、内湾奥  
第2回：11月6日（土）内湾（千年サンゴ周辺）、チエバノシタ

2回の活動で、オニヒトデ12匹（前年度：5匹）、サンゴ食巻貝536個（前年度：530個）を駆除しました。

オニヒトデの数は少ないものの、昨年度に初めて内湾で確認され、本年度も内湾及び内湾奥で9匹を駆除しており、注意が必要です。

サンゴ食巻貝は、食害されるサンゴにより種類が異なり、千年サンゴと同種のコブハマサンゴが多い内湾では、主にクチムラサキサンゴヤドリやトゲレイシダマシが駆除されています。

オニヒトデやサンゴ食巻貝は、海水温の上昇などの環境変化により急激に増えてサンゴに大きなダメージを与えることから、今後も継続して監視と駆除を実施します。

## 生物環境調査

例年、春と秋の年2回、大島周辺及び内湾の生物環境調査を実施しています。

5月に予定していた大島周辺調査は、昨年度に引き続き中止となりました。

10月30日(土)の大島内湾調査では千年サンゴとその周辺の小型サンゴの生育状態等を調査し、海水温やサンゴ食害生物による大きな被害が出ていないことを確認しました。

また、保全活動で内湾奥までオニヒトデの侵入が確認されたことから、内湾奥の浅瀬に生育する千年サンゴと同種類のコブハマサンゴ(写真)の調査を9月4日(土)に実施しました。サンゴ食害生物による被害はありませんでしたが、サンゴ上部の一部死滅や海水温の影響と思われる色抜けが見られ、今後も確認を続けて行く必要があります。



## PART 2 啓発・環境教育



恒例のシュノーケリング体験教室(本年度は、8月22日(日)に「シュノーケリング&ビーチコーミング体験教室」として企画)は、実施直前に新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。

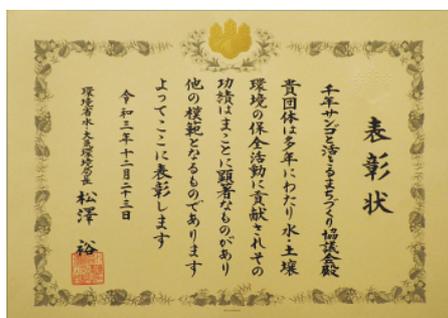
年間を通してイベントの実施・参加の機会に乏しい年度でありましたが、コロナ感染の小康期に開催された「第3回牟岐町にぎわい産業祭」に写真パネルと映像により出展参加し、多くの方々にご覧いただきました。

## PART 3 トピック

### 令和3年度 水・土壌環境保全活動功労者表彰を受賞しました

水環境の保全に関し功績のあった団体として、当協議会は、環境省の「令和3年度水・土壌環境保全活動功労者表彰」を受賞しました。

平成23年の設立以来の水環境保全に関わる活動が評価されたものであり、今日まで10年にわたり活動を続けて来られましたのも、ひとえにボランティアの方々をはじめ地域の皆様方、協力企業、そして、サポーター会員の皆様方の御支援ならびに御協力の賜と、重ねてお礼申し上げます。



詳しくは、協議会HP <https://www.sennensango.com> をご覧ください。

当協議会の活動は、協力企業(TOYO TIREグループ環境保護基金)からの助成金、団体負担金とサポーター会費によって支えられています。

決算額

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
サンゴ保全活動費(保全活動、環境調査)	1,002,734	1,041,674	930,000
地域活性化費(啓発、環境教育、会員募集)	730,442	723,039	770,000
協議会運営費(会議費、事務経費等)	6,328	19,080	10,000
計	1,739,504	1,783,793	1,710,000

千年サンゴと生きるまちづくり協議会 事務局  
徳島県南部総合県民局保健福祉環境部(阿南) 環境担当内  
電話番号 0884-28-9858

